

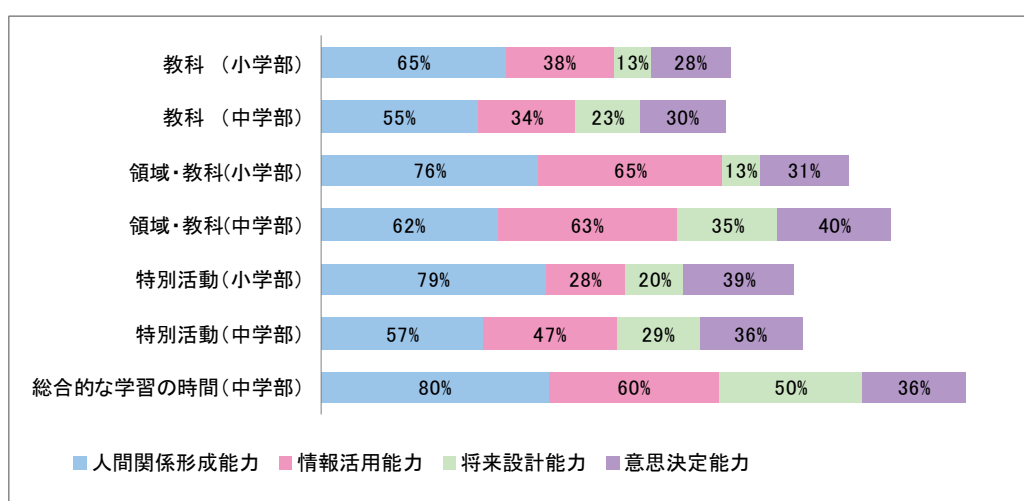
第2章 小学部・中学部における キャリア教育の指導内容と指導事例

1 キャリア教育の教育課程上における各教科との関連

平成20年7月に実施した都立知的障害特別支援学校へのアンケート（回答25校）では、各校におけるキャリア教育の取組について調査しました。

アンケートでは、各校の学習活動の中でキャリア教育と関連について調査しています。各校のキャリア教育と関連している学習活動をキャリア教育の4観点ごとに整理したのが表1です。学習活動全体の中で特に「人間関係形成能力」に重点が置かれている傾向があります。コミュニケーション能力である人間関係形成能力は、すべての活動に取り組む基礎的な力となっています。

表1



知的障害特別支援学校のキャリア教育に関する調査

(平成20年7月キャリア教育推進委員会実施)

次に、各4観点がそれぞれ重視される活動に、どのような領域、教科等において取り扱われているかを調査しました。

表2 小学部における4観点の割合が高い学習活動（回答数10以上の項目の中から選出）

人間関係形成能力	情報活用能力	将来設計能力	意思決定能力
遊びの指導 92%	生活単元学習 80%	泊を伴う行事 45%	遊びの指導 45%
社会性の学習 81%	国語・算数 64%	遠足、校外学習 28%	泊を伴う行事 36%
日常生活の指導 74%	遠足、校外学習 64%	日常生活の指導 20%	日常生活の指導 31%

表3 中学部における4観点の割合が高い学習活動（回答数10以上の中から選出）

人間関係形成能力	情報活用能力	将来設計能力	意思決定能力
総合的な学習の時間 80%	社会性の学習 66%	総合的な学習の時間 50%	作業学習 48%
保健体育 69%	国語・数学 66%	泊を伴う行事 45%	泊を伴う行事 45%
社会性の学習 66%	生活単元学習 65%	作業学習 40%	生活単元学習 37%

表2、表3では、小学部では「日常生活指導」「遊びの指導」「泊を伴う学校行事」が重視されており、日常生活動作や基本的な生活習慣に関する活動が中心になってキャリア教育の4観点がねらわれていることが分かります。中学部では「作業学習」と「総合的な学習の時間」が重視されており、小学部よりも職業に関する教育活動が中心になってキャリア教育の4観点がねらわれていることが分かります。

このように、キャリア教育への取組は、各教科や領域・教科を合わせた指導、特別活動などがそれぞれの特色を生かしながら、小学部のうちから段階的に積み重ねていくように実践されています。今後、図1のように清掃に関する取組だけでも様々な場面でキャリア教育の4観点をねらうことができますし、図2のように年間の教育活動全般にも様々なキャリア教育のねらいが含まれています。

キャリア教育のために新たな学習活動を設定していくのではなく、今まで学校で行われていた活動をもう一度キャリア発達の視点で見直してみて、整理していくことが大切です。

図1 清掃に関する取組の展開例

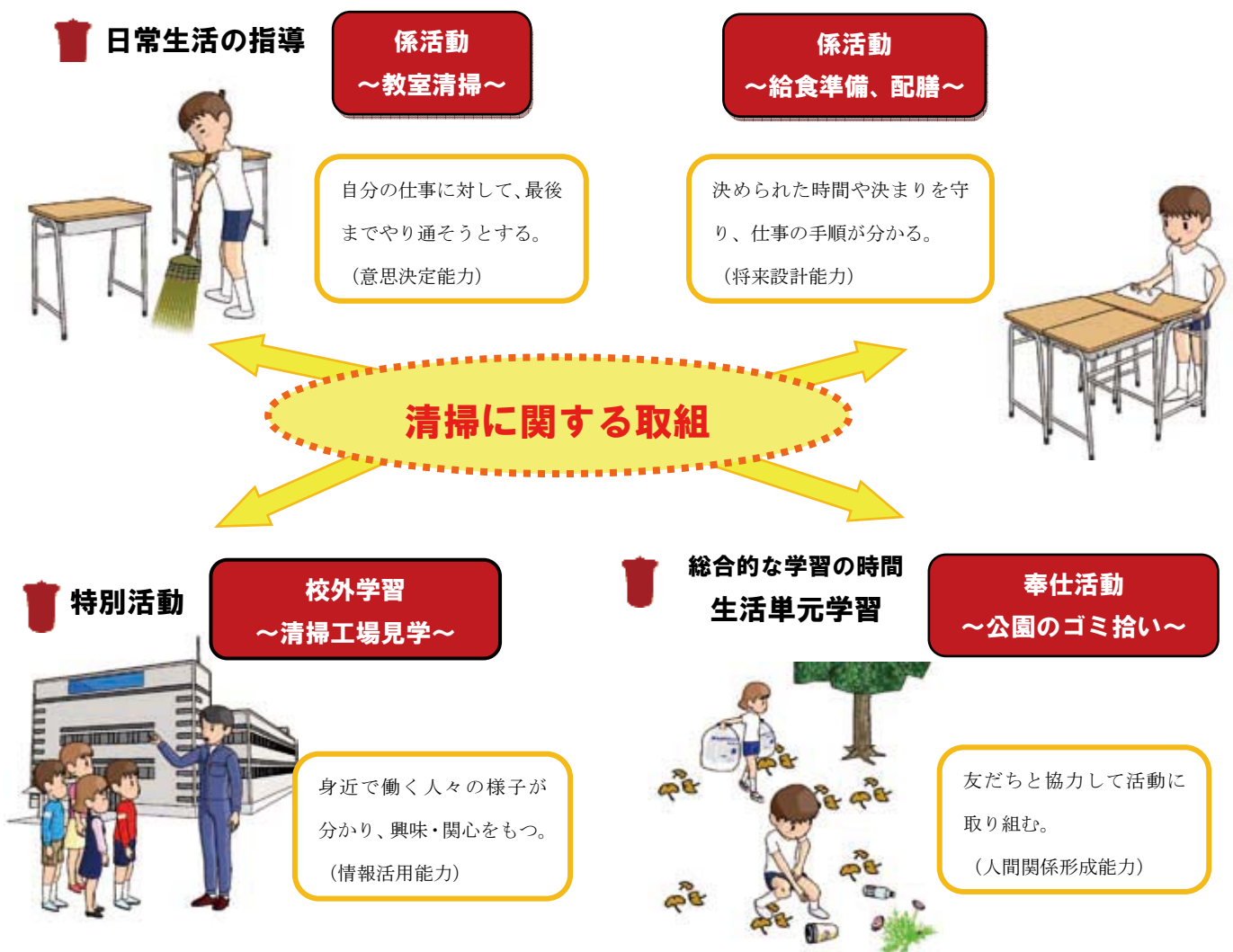


図2 キャリア教育の年間指導例 ～小学部高学年の場合～

領域・教科を 合わせた指導



日常生活の指導「係活動」

自分の役割を意識し、仕事をやりとげる意志を高める。

日常生活の指導「あいさつ」

正しいあいさつの仕方や習慣を身に付ける。

遊びの指導「遊具遊び」

好きな遊びを選ぶ。

遊びの指導「課題遊び」

集団活動や人とかかわりの力を付ける。

社会性の学習「乗り物遊び」

交代などのルールや他者とのやりとりの仕方を学ぶ。

生活単元学習「調理」

身近な材料、道具の使用の経験

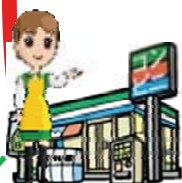
社会性の学習「買い物ごっこ」

社会に必要なルールやソーシャルスキルを学ぶ。

生活単元学習「校外歩行」

地域の商店での働く人を意識する。

キャリア教育としての 取組



教科

国語「個別学習」

話す、聞く、書く、読むなどの力をつける。

算数「個別学習」

初歩的な数の概念を高める。

音楽「楽器演奏」

好きな楽器を選ぶ。

図画工作「描画」

好きな色を選ぶ。

体育「ボール運動」

集団やルールを意識して、身体を動かす。



特別活動

遠足

公共の交通機関や施設でのルールを守る。

副籍・交流活動等

他校の児童と触れあい、より広い社会参加の力を育てる。

宿泊を伴う学校行事

自分のことは自分で行う意欲を育てる。

クラブ活動

他学年の児童とかかわり、協力して準備や片付けができる。

私たちの普通の学習は、既に色々なキャリア教育のねらいとかかわっているんだね。




2 小学部・中学部における授業の実際

(1) 小学部 授業モデル


ア. 小学部低学年 日常生活の指導 ～毎日の積み重ねの学習に、キャリア発達支援の視点を～
 <朝の活動>

児童の活動	キャリア教育としてのねらい <キャリア発達領域>
荷物整理 着替え、排せつ	<意思決定能力> 自分のことは自分で行おうとする。
係活動 ・ゴミ捨て ・天気係 ・保健カード 	<情報活用能力> ・自分の役割を理解し、やり遂げる。 ・自分に任せられた仕事を、意欲的に行う。 <人間関係形成能力> 教師に報告をする。活動を振り返る。 指導のポイント① 係活動表の活用  <p>「係活動ができれば、マグネットを貼る」ことで、自己評価を即時に行え、達成感をはぐくむことができます。また、友だちの活動の理解や評価もでき、新しいことに挑戦したいという気持ちを育てるきっかけとします。</p>
朝の会 ・あいさつ ・呼名 ・月日、天気 ・今日の予定 ・季節の歌 ・終わりのあいさつ	<人間関係形成能力> あいさつや返事をする。 <情報活用能力> 一日の見通しをもち、落ち着いて生活する。 <将来設計能力> 日直係は月日や天気を確認し、発表する。 <意思決定能力> 好きな歌を選び、教師や友だちに伝える。 指導のポイント② 絵カードによる選択  <p>様々な実態の児童に対応できるよう、写真や絵カードを用意しましょう。「カードを選べば要求が伝わる」という経験を積み、選択・表現することに自信をもてるようにします。</p>

<昼の活動>

給食の準備	<p><意思決定能力> 自分のことは自分で行おうとする。</p>
給食配膳	<p><将来設計能力> ・自分の当番活動を理解し、やり遂げる。 ・給食の準備（片付け）をする。</p>
給食	
<p>掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机運び ・ほうき ・掃除機 ・雑巾絞り ・雑巾がけ <p>など</p>	<p><情報活用能力> 友だちと協力して、教室をきれいに掃除する。</p> <p><意思決定能力> 自分の仕事を最後までやり通そうとする。</p> <div style="border: 2px solid brown; padding: 5px;"> <p>指導のポイント③ 低学年から積み重ね</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>将来に向けて掃除は大切な学習。小学部では、掃除にかかわる基礎的な力を確実に身に付けます。おしぼりの絞り方、雑巾がけの姿勢の保持などていねいな指導が必要です。また、友だちと一緒に物を運ぶなどの場面を意図的に設定することで、「協力する」ことの意識付けとなります。</p> </div> </div> </div>
あそび	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 60%;"> <p><意思決定能力> 自分の好きな遊びを選ぶ。</p> </div> <div style="border: 1px solid pink; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 35%; margin-left: 10px;"> <p>体を使ってたくさん遊ぶことは、キャリア発達の基盤の一つ。遊びの中には、ルール理解や友だちへの意識、自己選択、意思表示などたくさんを学べます。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px; width: 60%;"> <p><人間関係形成能力> 友だちと仲良く遊ぶ。</p> </div>

<帰りの活動>

<p>帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・今日の学習の振り返り ・明日の学習の確認 ・終わりのあいさつ 	<p><人間関係形成能力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活を振り返り、頑張ったことを発表する。 ・友だちの発表を聞き、頑張ったことを認める。 <p><意思決定能力> 明日の学習予定を聞き、期待感や見通しをもつ。</p> <div style="border: 2px solid brown; padding: 5px;"> <p>指導のポイント④ 報告のしかた・「がんばった表」の活用</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>「今日、ぼくは〇〇をがんばりました」と言葉やサインで型を決めることで、自信をもって発表・報告ができるようになります。ここでも、自己評価・他者評価が視覚的に確認できるように表の活用をしていきます。シールがたくさんたまったら何か達成感を得るための評価があると、さらなる意欲へとつながっていきます。</p> </div> </div> </div>
--	--

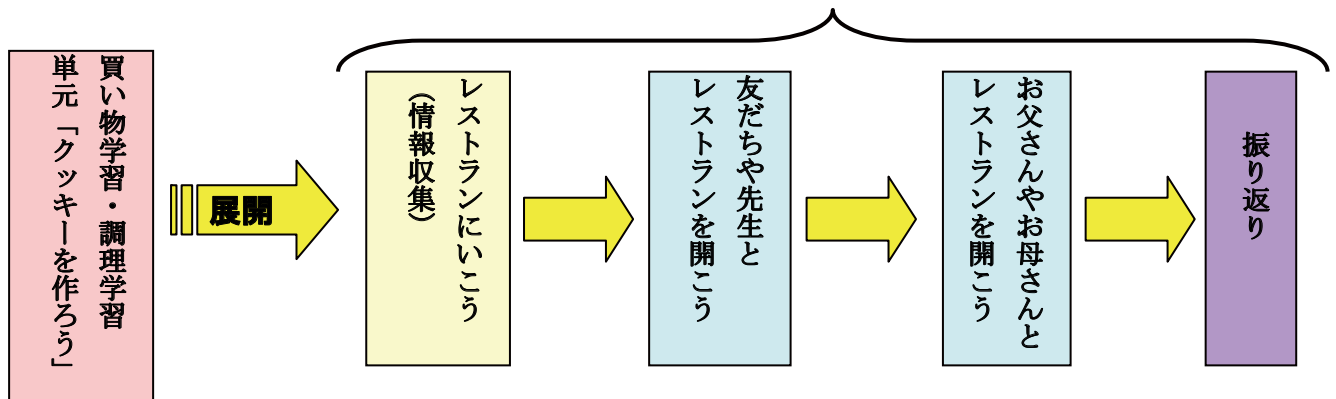
イ. 小学部高学年 生活単元学習 ～単元名「レストランを開こう」～

(ア) 単元のねらい


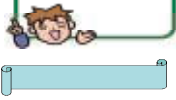
この単元は、買い物・調理学習の単元「クッキーを作ろう」から展開していく授業モデルです。まず調理学習の中で、作って食べることに慣れ親しんで、できることを増やしていきます。そこから発展させた「レストランを開こう」の本単元では、「自分たちが作ったクッキーを、ウェイターやウェイトレスになって、お客さん（友だちや家族）に食べてもらう」という活動を設定しました。ファミリーレストランで食べるという経験はどの児童にもありますが、レストランの「接客」という仕事の内容や働いている人の様子には目が向きにくい現状があります。ウェイターやウェイトレスという身近な仕事に対する興味や関心を広げ、役割の違いを意識したごっこ遊びへと展開していくことがねらいとなります。参観日に設定した「レストランを開こう」の中では、家とは違う自分の姿をお父さんやお母さんに認めてもらうことで達成感を得ることができます。こうした自己肯定感を積み上げて、漠然としながらも夢や希望をもって将来に目を向ける機会としていくことが重要です。

(イ) 単元の展開

単元「レストランを開こう」



児童の活動	キャリア教育としてのねらい <キャリア発達領域>
<div data-bbox="175 1417 489 1469" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レストランへいこう</div> <p>ウェイトレスの仕事内容を調べる</p> <p>①おじぎをして「いらっしゃいませ」</p> <p>②メニューを渡す</p> <p>③食べ物を運んで「どうぞ」</p> <p>④おじぎをして「ありがとうございました」</p>	<div data-bbox="539 1417 1461 1525" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p><情報活用能力> 身近で働く人（この単元では、レストランで働いているウェイターさんやウェイトレスさん）に興味や関心をもつ。</p> </div> <div data-bbox="539 1585 1461 1944" style="border: 1px solid brown; padding: 5px;"> <p>指導のポイント①</p> <div data-bbox="555 1644 756 1921" style="display: inline-block; vertical-align: top;"> </div> <p>いつもはお客の立場で食べる場所なので、お店でのマナーなどに注意が向いてしまいます。しかし、今回は「客」と「ウェイター」「ウェイトレス」という役割の違いに目を向けて、レストランをするための情報を集めることが目的となります。</p> </div>

児童の活動	キャリア教育としてのねらい <キャリア発達領域>
<p>友だちや先生とレストランを開こう</p> <p><手順></p> <p>①席へ案内「いらっしゃいませ」</p> <p>②「何にしますか？」メニューカードをから選択</p> <p>③先生にメニューカードを渡す</p> <p>④食べ物を運ぶ「どうぞ」</p> <p>⑤帰りのあいさつ「ありがとうございました。」</p>	<p><人間関係形成能力> ・友だちと協力して活動に取り組む。 ・自分らしさを発揮してのびのびと活動する。</p> <p><将来設計能力> 活動の中のいろいろな役割を知り、自分の役割を果たす。</p> <p><意思決定能力> 自分の仕事を最後までやり通そうとする。</p> <p>指導のポイント②</p> <div data-bbox="534 622 821 855" style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">  <p>こうちゃ・クッキー</p> </div> <p>「お客さん」と「ウェイター」「ウエイトレス」の役割の違いが分かりやすいように、客側の席と接客側（自分たち）の席をはっきりと分けま す。また、役割がわかりやすいように言葉や行動を単純化したり、絵や写真付きの手順カードやメニューカードで手がかりを用意したりし ます。</p>
<p>お父さんやお母さんとレストランを開こう</p> <p>・招待状を作る ・本番用のクッキーを作る</p>	<p>指導のポイント③</p> <div data-bbox="545 1041 957 1243" style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>しょうたいじょう</p> <p>レストランをひらきます。 ぜひいらしてください。</p> <p>にちじ 10がつ22にち 13:20~13:50 ばしょ 6の1 きょうしつ</p> <p>お待ちしております。</p>  </div> <p>手作りの招待状を子供が家で直接手渡すようにしたり、保護者に家庭の中で話題にのせてもらうよう依頼したりしておきます。そうすることで、家族とレストランごっこをするという期待感が膨らみ、自分の役割や相手への意識が増すようになります。</p>
<p>振り返り</p> <p>保護者と一緒に取り組んだ時のVTRを観ながら、活動を振り返る</p>	<p><人間関係形成能力> ・活動を振り返ってがんばれた自己を確認する。 ・友だちのがんばれたところも見付ける。</p> <p>指導のポイント④</p> <p>当日の活動のVTRだけでなく、保護者の感想もメッセージカードやVTRなどで残しておきます。その日だけでなく、後日にも活動を振り返る機会をもつことで、保護者からほめられた言葉や、教師や友だちから具体的に認められたことを強く意識し、児童自身が達成感をもつことや友だちの頑張れたところを理解していくことにつながっていきます。</p>

(2) 中学部 授業モデル

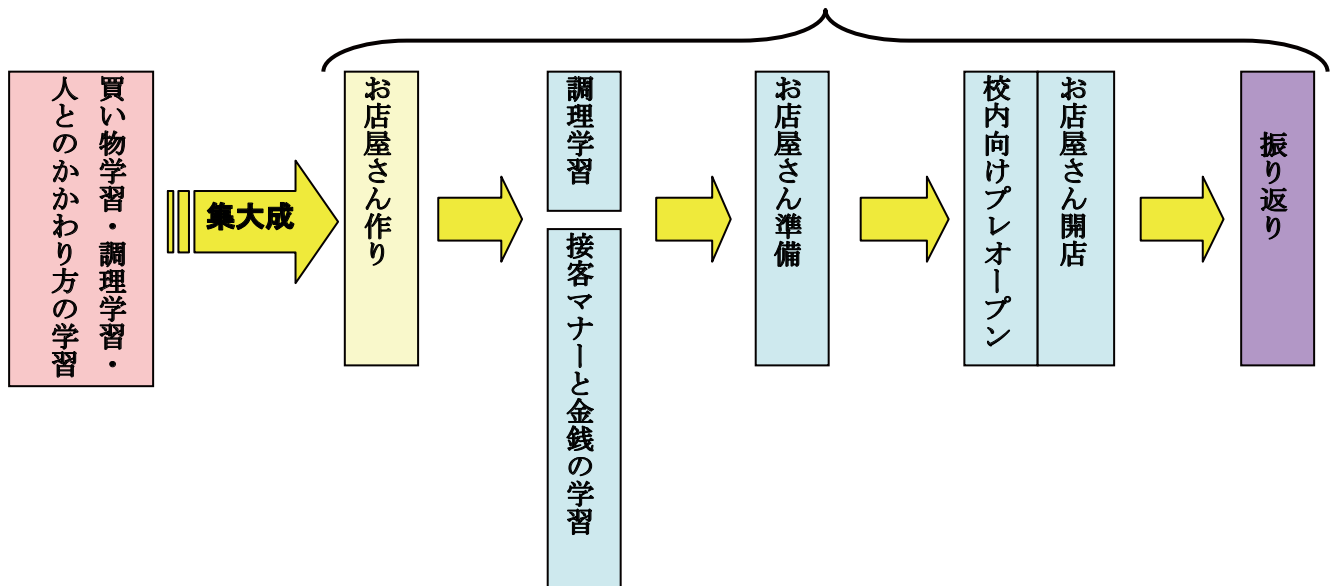
生活単元学習 ～単元名「お店やさんを開こう」～


(ア) 単元のねらい

文化祭の中で、「調理学習」「校外校内での買い物学習」「人とのかかわり方の学習」等の学習の集大成として模擬店を開くまでの取組を扱った授業です。お店の内容・販売する商品・調理の方法・接客・お店の装飾・宣伝等、模擬店を開くまでにはたくさんのことを学習し、準備しなくてはなりません。この単元のねらいとしては、大きく「働くことのたいへんさや喜びを知る」「みんなで協力し活動し、物事をやり遂げる大切さを知る」の2つがあります。さらに、模擬店を実際に行う中でお客さんから「良く頑張っているね」「おいしいよ」「楽しいお店だね」等、直接声をかけられるという経験を通して成就感や達成感を得ることで、働く喜びを知り、味わうことにつながっていきます。

(イ) 単元の展開

単元「お店屋さんを開こう」



生徒の活動	キャリア教育としてのねらい <キャリア発達領域>
<p>お店屋さん作り</p> <p>「近隣の店の見学」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなお店があるか？ ・店員さんの仕事は？ ・店員さんの対応は？ ・お店の売り場は？ ・お店の装飾は？等 <p>「お店の計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を販売するか？ ・値段は？ ・宣伝方法は？ ・販売方法は？等 	<p><情報活用能力> ・社会にはいろいろなお店があることを知る。店員はどんなことをしているかという情報を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭でお店を開くという目的意識をもって近隣の商店に注目する。 <p><意思決定能力></p> <p>自分たちのお店でやりたい内容を選択・決定し、進んで取り組む。</p> <p>指導のポイント①</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>自分たちの店という意識を高めるために、店名やイメージキャラクターを決めたり、お揃いのエプロンをデザインして身に付けるようにします。</p> </div> </div>

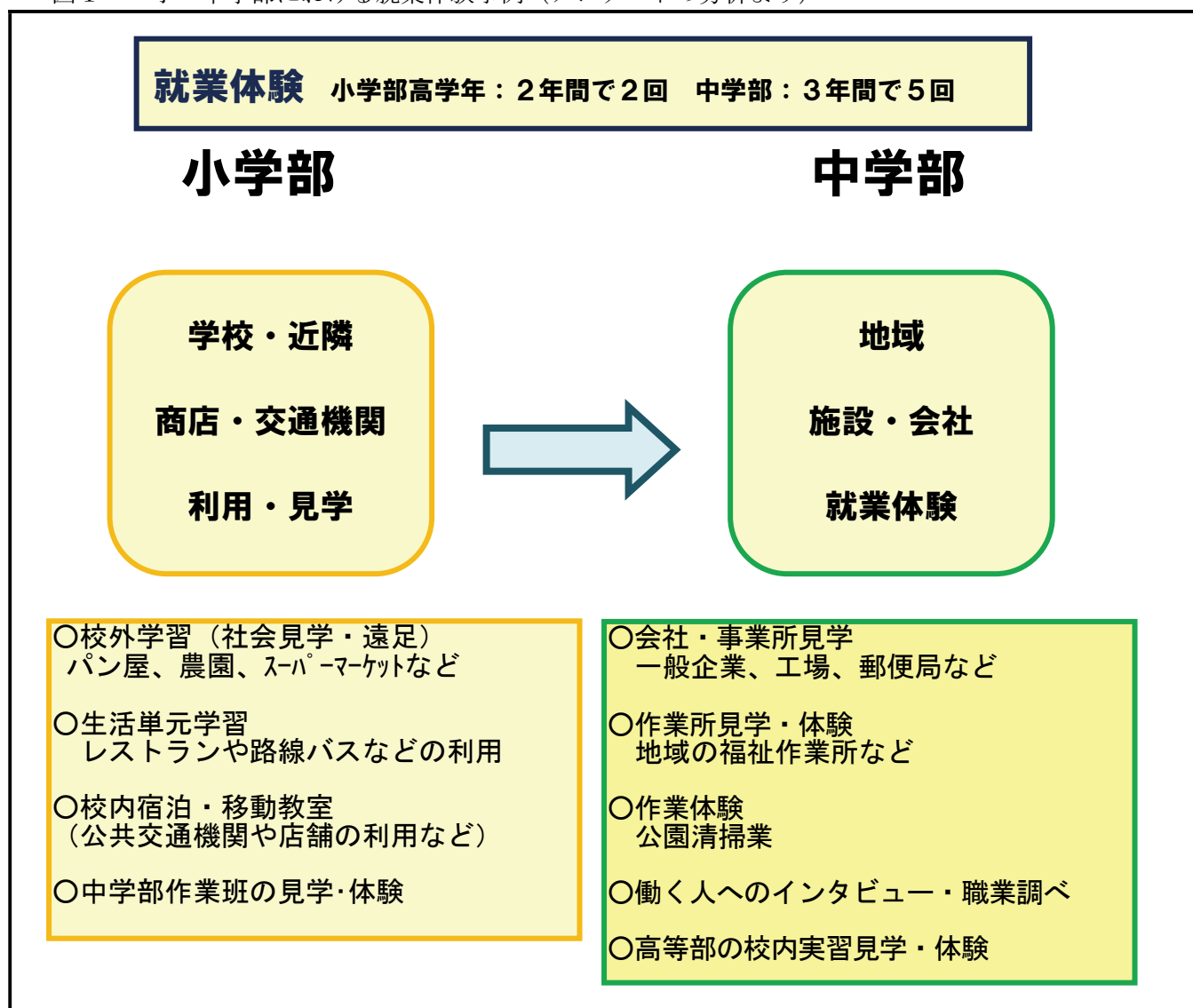
生徒の活動	キャリア教育としてのねらい<キャリア発達領域>
<p>調理学習</p> <p>豚汁 蒸かし芋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本番を意識して調理する。 ・味付けを考える ・盛りつけの練習 ・配膳と片付け 	<p><将来設計能力> 自分の役割について理解し、仕事に取り組む。</p> <p><人間関係形成能力> 友だちと協力して調理を行う。</p> <p>指導のポイント②</p> <p>模擬店のような大がかりな調理は、一人だけでできるものではありません。「野菜や肉を切る」「鍋に食材を入れる」「味付けをする」等、様々な役割分担をしながら行う必要があります。お互いの役割を理解したり、協力することの必要性を学んでいったりします。</p>
<p>接客マナーと金銭の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの練習 ・お辞儀の練習 ・接客の練習 ・金銭のやりとりの練習 	<p><情報活用能力></p> <p>金銭のやりとりの具体的な方法や大切さを知る。</p> <p><人間関係形成能力></p> <p>場面に即したあいさつや返事、人とのやりとりの仕方を学ぶ。</p> <p>指導のポイント③</p> <div data-bbox="512 996 842 1265" data-label="Image"> </div> <p>模擬店で、店員としてお客さんに接する前に、段階的に接客マナーや金銭のやりとりの仕方を教師とともに学んでいきます。</p>
<p>お店屋さん準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店内装飾作り等 	<p><将来設計能力></p> <p>店内の装飾の作業計画を知り、作業の手順通りに行うことができる。</p>
<p>校内向けプレオープン</p>	<p><人間関係形成能力></p> <p>お客さんを意識し、あいさつなど適切なやりとりができる。</p>
<p>お店屋さん開店</p>	<p><意思決定能力></p> <p>自分の役割を最後まで達成しようと頑張る。</p>
<p>振り返り</p> <p>当日の様子をビデオを見たり、お客さんからのアンケートの内容を聞いたりする。</p>	<p><意思決定能力></p> <p>自分の活動を振り返り、それを次回や将来につなげていこうと考える。</p> <p>指導のポイント④</p> <p>ビデオやアンケートなど具体的物を使用し、生徒が自分たちの活動を振り返りやすくします。</p>

3 小学部の職場体験、中学部の就業体験（インターンシップ）の実践例

（1）小学部、中学部における就業体験（インターンシップ）等の実施状況

平成20年7月に実施した都立知的障害特別支援学校への「キャリア教育の取組」に関するアンケート（回答25校）では、「就業体験」の実施状況を調査しました。図1は、アンケートの結果を分析を図にしたものです。各学校では、小・中学部の就業体験を高等部から始まる本格的な就業体験の基礎として位置付けている傾向があります。小学部段階では、学校内や近隣の商店、交通機関などで「働く人」の見学をしたり、交流をしたりしながら利用者としての経験を積んでいます。中学部段階になると、地域の公共施設や福祉施設、会社等へと活動拠点が広がり、働く側の立場でより実践的な作業や就業を体験する取り組みにステップアップしています。

図1 小・中学部における就業体験事例（アンケートの分析より）



今後は、就業体験の内容をキャリア教育発達段階表に沿って学部ごとに精選していく必要があります。小学部高学年では、内容を「職場体験」として位置付け、体験を通して身近で働く人々の様子に興味・関心をもつことが求められます。中学部からは、職場の方針やルールを踏まえて働くことに意識した、より実践的な体験が必要です。また、職場体験や就業体験の充実を図るために、地域や産業界との連携も不可欠です。

(2) 具体的なモデル例

ア 小学部の職場体験

A. 地域の商店の見学と体験



場所: スーパーなど地域の商店

ねらい:

- ・地域の商店には、どのような仕事をして働く人たちがいるのかを知る。(情報活用能力)
- ・スーパーのカゴ整理、空き箱の運搬、店員とともに「いらっしゃいませ」のあいさつをするなど簡単な仕事を体験する。(将来設計能力)

B. バスの車庫の見学と体験



場所: バス会社(スクールバスなど)の車庫

ねらい:

- ・身近な乗り物であるバスには、運転手以外にもいろいろな仕事をする人たちがいることを知る。(情報活用能力)
- ・バス車内の清掃の手伝いなど簡単な仕事を体験する。(将来設計能力)

C. 校内で働く人たちの仕事内容を知ったり、体験したりする。

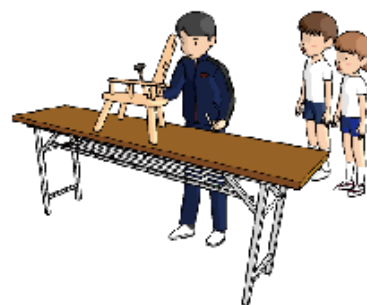


場所: 校内(普通教室、特別教室など)

ねらい:

- ・給食調理員や用務主事など校内で働いている人が、具体的にどのような仕事をしているのかを知る。(情報活用能力)
- ・校内で働く人への質問や仕事の共同体験などのやりとりを通して、働く人をより身近に感じる。(人間関係形成能力)

D. 中学部・高等部の作業学習の体験



場所: 校内の中学部・高等部の授業場所

ねらい:

- ・上級生が学習に取り組んでいる姿を見たり、共に授業を体験したりすることで、近い将来の学校生活についてのイメージをもつ。(将来設計能力)
- ・自分の興味のある作業内容や作業工程を選んで、授業を体験する。(意思決定能力)

イ 中学部の就業体験（インターンシップ）

A. 地域の福祉施設での作業体験 (ハーブ収穫、外注の軽作業)



場所: 地域の福祉施設など

ねらい:

- ・地域の福祉施設で働く先輩の様子、作業環境を知る。
(情報活用能力)
- ・学校と違う環境で活動することに慣れる。
(将来設計能力)
- ・作業の手順を覚え集中して活動する。
(意思決定能力)

B. 喫茶コーナーでの接客の体験



場所: 地域の福祉施設など

ねらい:

- ・状況に応じたあいさつや簡単なやりとりができる。
(人間関係形成能力)
- ・地域の施設を利用し、働いている様子を見る。
(情報活用能力)
- ・将来、社会の中で働くイメージをもつ。
(将来設計能力)

C. 公園の清掃活動 (落ち葉はき、遊具拭き、ゴミ拾いなど)



場所: 近隣の公園など

ねらい:

- ・自分の仕事での役割を理解し、他者と協力して仕事に取り組む。(人間関係形成能力)
- ・区の環境促進事業団と連携して清掃を行うことで、将来の社会生活に必要な知識、技能を取得する。
(将来設計能力)

D. 企業等で実際に働く体験



場所: 地域の企業など

ねらい:

- ・卒業生の働く姿を見たり、ともに仕事に取り組んだりすることで興味をもって就業体験に取り組むことができる。(情報処理能力)
- ・作業の手順や内容を理解し、決められた時間や量の作業を行うことができる。(将来設計能力)